



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業が未来を創るならば、企業は、夢を持つべきである。

可能性を否定することなく、それを実現することは可能である。

発想の飛躍は、既存努力の延長線上に、未来を得ることである。

自由経済システムは、企業は一切の自由を与えるものである。企業行動において、その自由はすべてを可能とできるのである。

これがすべての企業が抱く偉大な挑戦である。

経営者は、その哲学において、企業を与える。

企業が夢を実現することは、自己を有することである。

最もシビアな現実が、唯一企業の存在する現実である。これら自由経済システムの他方の真実である。

これら現実企業を最も優れたものとするのである。それが競争原理である。

企業が人材を得ることは、これらを可能とできるのである。

人材は能力において現実を実現できるのである。

挑戦は、唯一現実を超える手段である。正しい現実分析は、それを可能とする。